

マテリアリティ

各マテリアリティに対する2025年度の取り組み結果 および 2026年度の取り組み・目標

達成：◎、一部を除き達成：○、未達成or進捗遅れ：△

テーマ	マテリアリティ	アマノグループが目指すもの	リスク 機会	2025年度実績 自社評価	2025年度取り組み → 2026年度に取り組むこと
1 地球環境にやさしく	①環境保護／環境負荷低減	・CO2排出量削減・有害化学物質使用量削減に資する製品の開発・製造・販売 ・製品のユーザー使用时・製造過程双方におけるエネルギー効率向上・廃棄物削減	リスク	○ ◎ ◎ ◎ ◎	【開発・製造部門】 ・エネルギー使用量：エネルギー原単位で年1％削減 →継続実施 ・水使用量：年1％削減 →継続実施 ・廃棄物総排出量原単位：年1％削減 →継続実施 一般廃棄物含む再資源化率100％（相模原事業所）⇒継続実施 塗料の適正量購入による塗料廃棄量5期平均比年5％削減（細江事業所）⇒継続実施
	②気候変動対応／脱炭素社会実現への貢献	・CO2排出量削減に関する取り組み／TCFD開示	機会	○ ◎	【クリーンシステム事業】 ・鉛フリー：清掃ロボットのリチウムイオンバッテリー搭載率100％ →継続実施 【環境システム事業】 ・省エネ対応製品14機種の販売拡大 →省エネ対応製品15機種の販売拡大
			リスク	◎ ◎	【全社】 ・CO ₂ 排出量削減：年1％削減 →2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み継続 ・Scope3算出に向けた作業開始 →算定データ収集体制の整備
2 人にやさしく	①ダイバーシティ推進／人権尊重 ②多様な働き方への対応	・ダイバーシティとインクルージョンの推進 ・女性差別の解消／人権保護（性別・国籍・障がいなどに基づく差別の禁止）	リスク	◎ ◎ ◎ ◎ ○ ◎ ○ ◎	【全社】 ・多様な人材の登用 新卒採用（大卒）：2026年4月採用計画に対し100％ →2027年4月採用計画に対し100％ 海外IT人材活用：開発部門にて従事継続 →2026年4月に改定した新人事制度にて包括して継続実施 ・中長期的な変化への対応力強化 リスキリング研修実施 →2026年4月に改定した新人事制度にて包括して継続実施 ・多様性を活かす職場づくり ウェルビーイング経営：健康診断受診率目標：100％ →継続実施 ・女性雇用比率（2024年3月：16.9％ → 2026年3月目標：20.0％）⇒2029年3月目標：20.0％ ・女性管理職比率（2024年3月：2.7％ → 2026年3月目標：5.0％）⇒2029年3月目標：6.0％ ・女性社員に占める管理職比率（2024年3月：3.6％ → 2026年3月目標：10.0％）⇒2029年3月目標：10.0％ ・男性育児休暇取得率（2024年3月：40.0％ → 2026年3月目標：50.0％） ⇒2026年4月～2029年3月 3年間平均取得率65％以上
	②多様な働き方への対応	・多様化する働き方に対して製品・ソリューションの提供による、法令遵守・健康被害防止並びに業務効率化の実現	機会	○	【情報システム事業】 ・新就業ソフトウェア開発：開発投資額 10億円超（働き方・働くロケーションの多様化に対して、セキュリティ強化・マルチデバイス対応） ⇒AI勤怠管理システムTimePro-eXの拡販、利便性向上に向けた機能強化
3 安心・安全の提供	①安心・安全な製品とサービスの提供	・お客さまが安心して使用出来る高品質な製品・サービスの開発	機会	○	【開発・製造部門】 ・安全性・品質向上：開発初期段階から開発・製造が連携しフロントローディング強化 →継続実施
	②新しい技術への対応／イノベーション	・ソフトウェア・クラウド・IoT・AI・ロボット ビジネスの強化（利便性向上／新技術や多様化する運用への対応／お客様の状況把握による適切なサポート／ストックビジネス拡大による収益性向上）	機会	◎ △ ◎ ○ ○ △ ◎	【情報システム事業】 ・就業管理の周辺サービス等のアライアンス拡大 →AI勤怠管理システムTimePro-eXのAIソリューション機能強化 【パーキングシステム事業】 ・ETCGO契約事業地拡大 →継続実施 ・キャッシュレス事業地拡大 →継続実施 ・ストックビジネス強化・拡充（新規ソリューション提供：ETCGO・ミライID等） ⇒ストックビジネス強化・拡充（新規ソリューション提供：LINEデジタル駐車券・割引券、Web定期券、ETCGO等） 【クリーンシステム事業】 ・クラウドサービス拡大 →継続実施 ・清掃ロボット販売拡大 →継続実施 【開発・製造部門】 ・クラウド対応サービス拡充（パーキング：タブレットアプリ連携、LINEデジタル駐車券） ⇒クラウド対応サービス機能拡充（パーキング：LINEデジタル駐車券・割引券）
4 責任ある企業行動	①コーポレートガバナンス強化／コンプライアンス	・強制労働・過重労働・不当労働の撲滅	リスク	◎ ◎ ◎ ◎	【調達部門】 ・アマノ単体の国内取引金額の約80％網羅 →調達先への人権アンケート調査結果をもとに改善を図る 【全社】 ・ステークホルダー向け外部通報窓口の適切な運営継続 →継続実施 ・従業員向け内部通報制度・ステークホルダー向け外部通報窓口運営強化 →継続実施 ・人権研修実施（役員向け・従業員向け） →継続実施
		・汚職・贈賄の未然防止	リスク	◎ ◎ ◎ ◎	【全社】 ・全従業員向けコンプライアンス研修実施 →継続実施 ・汚職、贈賄の発生件数ゼロの継続 →継続実施 ・ステークホルダー向け外部通報窓口の適切な運営継続 →継続実施 ・従業員向け内部通報制度／ステークホルダー向け外部通報窓口運営強化 →継続実施
	②リスクマネジメント／災害対策強化	・災害対策の強化	リスク	◎ ○ ○ ◎	【全社】 ・各サイトにおけるBCP案策定 →各サイトにおける簡易版BCPの整備・見直し ・地震・火災発生時を想定した防災訓練等の実施 →継続実施 ・災害時必要物資手配継続 →継続実施
		・サイバーセキュリティ対策の強化	リスク	◎ ◎ ◎	【システム部門】 ・重大インシデント発生件数ゼロの継続 →継続実施 ・情報セキュリティ研修実施、受講率100％ →情報セキュリティ研修の継続実施 ・不審メール対応訓練実施 →継続実施